

JCRRA 準備会講演・学習会（第2回）

# 福島の現状と課題

講師 飛田晋秀氏（写真家）

2026年1月15日（木）午後7時30分から9時

日本放射線リスク評価委員会（JCRRA、仮称）設立総会を2月22日に迎えて学習会を開きます。今回は福島県三春町に住み続け、福島原発事故後の福島を見つめ、カメラに収め、放射線量を測定し、じっと変わりゆく福島を見守ってきた飛田氏に福島の実状と問題点について話していただきます。それを基に当会の課題について参加者全員で議論したいと思います。

特に、飛田氏の報告に加えて、質疑討論で、それぞれの立場からの現状報告に関する発言を歓迎します。現状報告や取り組むべき課題や日頃気になることなど発言を希望される方は気軽に、事務局担当（[gakushu2@jcrra.org](mailto:gakushu2@jcrra.org)）までお知らせください。



汚染地にたくさんの農家が居住し、「おいしいお米や、野菜」を生産し、汚染された海では魚介類が食物連鎖を伴って汚染されており、それが全国に「食べて応援」をてこに流通され、健康被害・死亡者の異常増加を招きました。

飛田さんの現在の福島情報は日本人全体が棄民され、今も将来も健康被害を拡大され続けることを裏付けています。

事実を、みんなでデータを持ち寄り、人権確保の内容としましょう。

（矢ヶ崎克馬・JCRRA 準備会代表）



Zoom 申し込みはこちらから

（1月13日ごろまでに参加情報お知らせします）

<https://x.gd/l9YDd>（Google フォーム）

第1回講演・学習会動画：<https://youtu.be/h2zR9sQmO9M>

福島原発事故後の次世代への影響あり

（周産期死亡と低出生体重児）

「影響なし」とする UNSCEAR の誤り

林 敬次医師 講師 はやし小児科・医療問題研究会（医問研）